

令和5年度 学芸員・文化財保護専門技術者等の研修会等一覧（文化庁等関係）

※開催時期・期間等は今後変更の可能性がある

研修会名	対象	趣旨	開催時期・期間	場所	担当課	連絡窓口
「文化をつなぐミュージアム」研修	博物館の設置者・行政職員等、ミュージアムの地域課題解決や中長期的な将来構想に関係する者	博物館の設置者・行政職員等、ミュージアムの地域課題解決や中長期的な将来構想に関係する者に対して、これからのミュージアムに求められる役割に関する基本的な知識に関する研修を行い、外部からミュージアムの管理・運営に関わる人材の力量を高める。	令和5年12月上旬（3日間）（予定）	オンライン配信	文化庁企画調整課 博物館振興室	-
	300名程度（予定）					
ミュージアム トップマネジメント研修	主として登録博物館、博物館相当施設の館長・副館長・管理職	ミュージアムの館長、管理職員に対し、博物館の役割と機能、マネジメント、事業評価・改善等に関する専門知識、また、博物館を取り巻く社会の動向などについて学ぶ機会を提供し、博物館運営の責任者としての力量を高める。	令和5年9月下旬（3日間）（予定）	国立教育政策研究所およびオンライン配信	文化庁企画調整課 博物館振興室	-
	50名程度（予定）					
ミュージアム パブリックリレーションズ研修	博物館に勤務する学芸員等専門職員	ミュージアムの学芸員等専門職員を対象に、広報発信・地域交流、地域課題解決、デジタル化等、これからのミュージアムに求められる役割に必要な知識・技能を培う研修を行い、ひいては博物館運営に関わることができる人材を育成する。	令和6年2月頃（5日間）（予定）	東京都内（未定）およびオンライン配信	文化庁企画調整課 博物館振興室	-
	50名程度（予定）					
文化財行政講座	地方公共団体等の文化財行政担当職員等で、経験年数3年未満の者	文化財行政の遂行に必要な基礎的事項及び実務上の課題に関する研修	令和5年11月27～29日	京都府庁舎およびオンライン開催（予定）	文化庁文化資源活用課	計画推進係
	200名程度（予定）					
「文化財保存活用地域計画」研修会	地方公共団体等の文化財行政実務担当職員等	「文化財保存活用地域計画」の作成に必要な事項、実務上の課題、事例紹介に関する研修（実地研修含む）	令和5年10月24日～27日（予定）	千葉県香取市（予定）	文化庁文化資源活用課	計画推進係
	100名程度					
「文化財保存活用支援団体」研修会	地方公共団体等の文化財行政実務担当職員等	「文化財保存活用支援団体」の概要や指定のための基礎的事項についての研修	未定	未定	文化庁文化資源活用課	計画推進係

研修会名	対象	趣旨	開催時期・期間	場所	担当課	連絡窓口
歴史民俗資料館等専門職員研修会	歴史民俗資料館，教育委員会等で資料（文化財を含む）の保存と活用にあたる専門職員で，原則として勤務経験5年未満の者	歴史資料，考古資料，民俗資料等の調査，収集・保存，公開等に必要な専門的研修を行う。	令和5年11月13日（月）～11月17日（金）	国立歴史民俗博物館	文化庁参事官（生活文化創造担当）	活用連携係
	30名程度					
民俗文化財担当者会議	都道府県，政令指定都市民俗文化財担当者	民俗文化財事務の適正な遂行を図るため，これに従事する行政担当者に対して必要な事項の連絡等を行い，もって民俗文化財保護の充実を図る。	令和5年7月頃	オンライン配信	文化庁参事官（生活文化創造担当）	活用連携係
	60名程度					
指定文化財(美術工芸品)企画・展示セミナー	指定文化財(美術工芸品)を公開する博物館等の学芸担当者	有形文化財(美術工芸品)の公開に関する専門的知識・技能の研修を行う。	東会場：令和5年7月3日（月）～7日（金） 西会場：令和5年8月21日（月）～25日（金）	東会場：東京国立博物館 西会場：京都国立博物館	文化庁参事官（生活文化創造担当）	活用連携係
	10～15名程度×2会場					
文化財(美術工芸品)保存修理講習会	文化財(美術工芸品)の修理に携わる事業者等の技術者等および，文化財(美術工芸品)の修理を担当する地方公共団体の担当者，学芸員等	文化財(美術工芸品)の修理に関わる専門的知識等の研修	令和5年11月～12月頃	オンライン配信（予定）	文化庁参事官（生活文化創造担当）	活用連携係
	500名程度					
国宝・重要文化財（美術工芸品）防災・防犯対策研修会	教育委員会等および博物館等施設の防災・防犯対策担当者	都道府県教育委員会や美術館・歴史博物館の職員等に対し，国宝・重要文化財（美術工芸品）等の効果的な防災・防犯対策及び国庫補助事業の説明並びに文化財保護法上必要な手続きについての研修を実施し，文化財の適切な活用，保存及び継承を図る。	令和5年6月22日（木）	オンライン配信	文化庁参事官（生活文化創造担当）	活用連携係
	500名程度					
公開承認施設担当者会議	公開承認施設の学芸担当者および教育委員会等の公開承認施設事務担当者	都道府県教育委員会や公開承認施設の美術館・博物館の職員等に対し，国宝・重要文化財（美術工芸品）等の適切な保存管理及び安全な公開活用の事例紹介並びに保護法上必要な手続きについての説明を実施し，公開承認施設における文化財の適切な公開活用，保存及び継承を図る。	令和5年6月23日（金）	オンライン配信	文化庁参事官（生活文化創造担当）	活用連携係
	500名程度					
銃砲刀剣類登録事務協議・登録鑑定実技講習会	（登録事務協議） 銃砲刀剣類登録事務担当	銃砲刀剣類登録規則(昭和33年文化財保護委員会規則第1号)に規定する，美術品若しくは骨董品として価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品として価値のある刀剣類の登録に当たっての鑑定に関し，実技講習を行うことにより，登録審査委員の資質の向上を図り，もって銃砲刀剣類の登録事務のさらなる円滑化を図る。	秋頃開催（予定） （令和4年度は11月7日（月）に実施）	文化庁東京庁舎およびオンライン配信の併用 （昨年度はオンライン開催）	文化庁文化財第一課	調査係
	各都道府県から1名		秋頃開催（予定） （令和4年度は11月8日（火）に実施）			
	（登録鑑定実技講習） 登録審査委員					
	各都道府県から2名					

研修会名	対象	趣旨	開催時期・期間	場所	担当課	連絡窓口
埋蔵文化財担当職員等講習会	地方公共団体，公益法人等の埋蔵文化財担当職員等	発掘調査に当たり開発事業者等との協議を担当する地方公共団体の埋蔵文化財担当職員等に，埋蔵文化財行政に必要な知識を習得させることにより，円滑な発掘調査の実施を図ることを目的とする。	令和6年1月31日 (水)～2月2日(金)	和歌山県	文化庁文化財第二課	埋蔵文化財部門
文化財マネジメント職員養成研修	地方公共団体，法人調査組織の文化財専門職員 各80名程度	文化財保存活用大綱及び文化財保存活用地域計画の策定するうえで，各地方公共団体において，文化財の価値を相対的に把握し，一体的な保存と活用を企画・立案する専門的な人材を養成することを目的とする。	令和5年11月7日 (火)～11月10日 (木)	埼玉県	文化庁文化財第二課	埋蔵文化財部門
文化的景観保護実務研修会（基礎コース）	地方公共団体において文化的景観に関する業務に従事する職員等	制度の概要と運用における留意事項，保護の課題とその取り組み事例等について説明すると共に，国庫補助事業等に係る諸連絡やより良い制度運用に向けた情報提供を行う。	令和5年 4月18日（火）	オンライン開催	文化庁文化財第二課	文化的景観部門
文化的景観保護実務研修会（実践コース）	地方公共団体において文化的景観に関する業務に従事する職員等 各40名程度	文化的景観の保存活用に係る課題に対応する上で必要な専門的事項に関する研修	令和5年 秋頃	未定	文化庁文化財第二課	文化的景観部門
登録有形文化財(建造物)事務担当者連絡会	地方公共団体の文化財行政担当者 120名程度	登録有形文化財建造物にかかる事務手続きの説明や保存活用にかかる取組の報告などを通じて，登録制度の理解促進及び担当者間の情報共有を図る。	令和5年 6月8日（木）	オンライン開催	文化庁文化財第二課	登録部門（建造物）
伝統的建造物群保護行政研修会 (基礎コース)	地方公共団体の職員及び伝統的建造物群の保存に関わる専門家・技術者等 30名程度	伝統的建造物群保存地区に関わる職務遂行に必要な基礎的事項に関する研修	令和5年7月5日（水） ～7月7日（金）	福井県小浜市	文化庁文化財第二課	伝統的建造物群部門

研修会名	対象	趣旨	開催時期・期間	場所	担当課	連絡窓口
文化財建造物修理主任技術者講習会 (普通コース)	文化財建造物修理工事の設計または施工の監理等の実務経験を有する者 30名程度	文化財建造物保存修理工事の主任技術者として必要な知識及び技術の研修 令和4年度に前期を実施し、令和5年度に後期を実施。	後期：令和5年 8月24日 ～9月1日	未定（京都市内を予定）	文化庁文化資源活用課	修理指導部門
文化財建造物保存修理関係者等連絡協議会	都道府県・市町村の文化財建造物担当者及び文化財建造物修理主任技術者等 人数未定	重要文化財建造物保存修理事業等の適正な遂行を図るため、技術上の総括的な指揮監督にあたる者と事業に伴う技術的諸問題について協議をし、もって修理技術の向上と設計監理業務の円滑な実施を図る。	令和5年 10月16日（月）	未定 （京都市内を予定）	文化庁文化資源活用課	修理企画部門

※この他「文化財を中核とする観光拠点形成に向けたオンライン講座」を文化庁HPにて公開（[http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/kankokyoten\\_koza/index.html](http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/kankokyoten_koza/index.html)）

研修会名	対象	趣旨	開催時期・期間	場所	担当課	連絡窓口
学芸員専門研修アドバンス・コース	自然科学系博物館等の学芸員等専門職員	自然科学系博物館等に勤務する中堅学芸員を対象に、一層の資質向上を目的として高度な内容の研修を行う。	令和5年 11月6日(月) ～11月9日(木)	国立科学博物館 ・筑波研究施設 ・上野本館	独立行政法人 国立科学博物館	学習課
	10名程度					
オンライン学芸員専門研修	自然科学系博物館等の学芸員等専門職員 (当該分野における経験年数概ね10年以内のものを優先)	自然科学系博物館等に勤務する学芸員を対象に、資質向上を目的としてオンラインによる研修を行う。	令和5年度下半期の 月曜日3日間程度	オンライン	独立行政法人 国立科学博物館	学習課
	30名程度					
美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修	① 小・中・高等学校、特別支援学校等の教員 (国公立校、私立校全ての教員) ② 美術館学芸員 ③ 指導主事	鑑賞教育の重要性を踏まえ、全国の教員と美術館の学芸員などが一堂に会してグループ討議等を行うことにより、美術館を活用した鑑賞教育の充実及び学校と美術館の一層の連携を図る。	令和5年 8月7日(月) 8月8日(火)	・国立国際美術館 ・大阪府立国際会議場 (グランキューブ大阪)	独立行政法人 国立美術館	研修担当
	80名程度					
独立行政法人国立美術館キュレーター研修	公私立美術館の学芸担当職員	公私立美術館の学芸担当職員を対象とした研修を実施し、その専門的知識及び技術の向上を図る。	4月1日～翌年3月31日 の期間で研修生の希望を踏まえ、受入館が承認した期間とする。	・東京国立近代美術館 ・国立工芸館 ・京都国立近代美術館 ・国立西洋美術館 ・国立国際美術館 ・国立新美術館	独立行政法人 国立美術館	研修担当
	若干名					
博物館・美術館等保存担当学芸員研修 (基礎コース)	国公立博物館・美術館等に勤務する資料保存担当者又は教育委員会等に勤務する社寺等の資料の保存担当者	展示・収蔵空間における環境管理に関する基礎的な知識及び技術についての講義・実習を行う。	【第1回】令和5年 7月31日(月) ～8月4日(金) 【第2回】令和6年 1月22日(月) ～1月26日(金)	東京国立博物館 黒田記念館セミナー室	独立行政法人 国立文化財機構 文化財活用センター	文化財活用センター 保存担当
	第1回、第2回とも20名程度					
博物館・美術館等保存担当学芸員研修 (上級コース)	国公立博物館・美術館等に勤務する保存担当者又は教育委員会等に勤務する有形文化財(美術工芸品)等の保存担当で、令和2年までの博物館・美術館等保存担当学芸員研修または令和3年以降同研修(基礎コース)を受講した者もしくは同等の経験を有する者	文化財保存に関する専門性の高い知識及び技術についての講義・実習を行う。	令和5年 7月10日(月) ～7月14日(金)	東京文化財研究所	独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所	東京文化財研究所 保存科学研究センター
	20名程度					
文化財担当者研修	地方公共団体の文化財担当職員若しくはこれに準ずる者	文化財保護行政に必要な専門的知識と技術について研修を行う。	年間を通し、5日間程度の研修を14課程開催予定 (課程ごとにそれぞれ異なる。)	奈良文化財研究所 外	独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所	総務課
	各課程15名程度					